

さくらに木

(題名は校歌より)

さいたま市立宮前小学校

学校教育目標

- ・本気で勉強しよう
- ・心を見がき、体をきたえよう
- ・人のためになろう

在籍児童数669名 学級数25

夢の実現のために

校長 高田 信太郎

謹んで新年のお慶びを申し上げます。令和6年が皆様にとりまして、幸多き年となりますことを祈念いたします。

今年辰年です。十二支の中で唯一架空の生き物です。しかし、誰もが連想する「龍」の姿は、ほぼ一緒です。龍には、勢いがあり、昇っていくイメージがあります。今年が、活気のある年になってほしいと願っています。

さて、12月にさいたま市の青少年の主張大会がありました。小・中・高の各学校から4名が選ばれ、ステージで自分の思っていることを発表しました。宮前小学校5年生の児童もその一人で、自分の意見を堂々と発表し、小学校部門で最も素晴らしい「青少年育成さいたま市民会議会長賞」を受賞しました。その内容が大変素晴らしいので、作品の要旨について、紹介します。

「自分で切り開く人生」(要旨)

ぼくは、6歳の時に宇宙飛行士の夢をあきらめなくてはならなくなった。ぼくは、先天性の色覚異常で、宇宙飛行士はなれないことを知ったからだ。

でも、7歳の時、自分と同じ名前の天文学者の書いた宇宙探査についての本と出会い、宇宙飛行士以外にも宇宙に関わる職業がたくさんあることを知った。そして、ぼくの開発した探査機に代わりに宇宙に行ってもらい宇宙の謎の究明に関わる宇宙開発技術者が今の夢になった。

ぼくは、今、夢の実現のために、日々がんばっている。ぼくがこうして、夢をあきらめたあと、新たな夢を見つけて努力できているのは、家族や周りの人たちのおかげだ。友達も応援してくれているので励みになっている。

ぼくは、自分の経験から、将来の夢がある人もない人も、夢をもつことをあきらめたくないと思う。自分の意志で自分の人生を決めていくことが大切だと思う。あきらめずに自分を貫いていくことで、応援してくれる人も現れると思う。

ぼくにも、きっとこれからたくさんの困難が待ち受けているが、自分の意志を大切にして、夢を追いかける努力を続けていく。そして、必ず、夢をかなえてみせる。

「1年の計は元旦にあり」と言われます。今年はこんな年にしたいと、これまでの自分を振り返り、夢や目標を決めている子も多いと思います。子どもの頃の夢をもち続け、叶える人もいれば、様々な経験をから、新たな夢に出会う人もいます。大切なことは、自分が決めることです。子どもたちには、自分の目標をしっかりともち、3学期をスタートしてほしいと思います。

今年も、教職員一同、心一つにして取り組んでまいりますので、保護者、地域の皆様には、御支援、御協力をいただけますよう、よろしく願いいたします。

